

第3回しまもと・にぎわい・地域活性化交流会2016年度 ※累計9回目

---

# 議事録



平成29年2月8日(水)14:00~16:00 in 島本町商工会

岩橋マネジメントサービス 中小企業診断士 岩橋 亮

# 当日の流れ

---

1. はじめに

2. しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会の取り組みについて

～ 休憩(10分程度)～

3. 意見交換会

4. おわりに

# 「しまもと・にぎわい・ねっと」における地域活性化の定義

---

- (1) 町内外の多くの人に島本町のことを知ってもらうこと
- (2) イベントの結果として、島本町内商工業者の業績向上につながることに
- (3) 観光・イベント目的で町外から人を島本町に集めること
- (4) 自然、歴史、文化等島本町の魅力・観光資源をアピールすること
- (5) 島本町の住民に島本町をもっと好きになってもらうこと

# しまもと・にぎわい地域活性化交流会の歩み①

平成26年度

H26.6.9 1回目 自己紹介と地域活性化の目標共有

H26.7.14 2回目 横のつながりの強化

H26.9.8 3回目 『島本町のにぎわい・活性化』のためにこれから何をすべきか

H26.10.27 4回目 『短期的に実現可能性の高い企画と具体的な中身の検討』

H26 フェイスブックページ『しまもと・にぎわい・ねっと』開始

H27.1 みなせ名店街『MINASE MARKET PLACE』 H27.4 水無瀬商店街『第三土曜日』・開始

平成27年度

H27.4 広報しまもと『しまもと・にぎわい・ねっと』欄開始

H27.7.10 5回目 『Kenchiくん・MINASE MARKET PLACE発表・しまもと・にぎわい・ねっと』

H27.10.22 6回目 『しまもと・にぎわい・ねっと運用方針検討、  
しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会発足』

H27.12.5 『第三土曜日』『MINASE MARKET PLACE』『Kenchiくん』『100円商店街』同時開催

# しまもと・にぎわい地域活性化交流会の歩み②

平成28年度

H28.5.24 7回目 しまもと・にぎわい・ねつとを商売繁盛につなげる方法

H28.8.2 地方創生加速化交付金事業に島本町の『水と緑のおもてなしのまち 島本町 西国街道をつなぐプロジェクト』が選ばれる

H28.9.27 8回目 各団体の取り組みについての意見交換・地方創生加速化交付金事業

H28.12.16 「離宮の水」ブランド協議会設立

H29.2.8 9回目 各取り組みの進捗状況の共有と意見交換

# フェイスブックページ『しまもと・にぎわい・ねっと』の現状

## <“いいね！”数推移>

2015.3.31・・・182人  
 2016.3.31・・・269人  
 2017.1.31・・・321人

## <内訳>

島本町 105人  
 大阪市 44人  
 高槻市 38人  
 京都市 23人  
 茨木市 9人  
 神戸市 5人  
 横浜市 5人  
 大山崎町 5人

## <投稿記事別リーチ数(記事を見た人)ランキング>

1位	17.01.21	離宮の水ブランドロゴ発表	963
2位	16.12.15	離宮の水ブランド化プレスリリース	896
3位	16.12.21	離宮の水ブランド推進協議会発足	743
4位	16.12.28	離宮の水・中外日報掲載	473
5位	16.12.10	しまもとミニマラソン大会	448
6位	17.01.24	みなせ野オーガニックマーケット	438
7位	16.12.08	よちよちパーク開園	423
8位	16.11.28	【ジャパニーズウイスキー発祥の地を訪ねて】	362
9位	16.11.29	12/3第10回手づくり市の案内	317
10位	16.12.01	島本町イルミネーション点灯	316

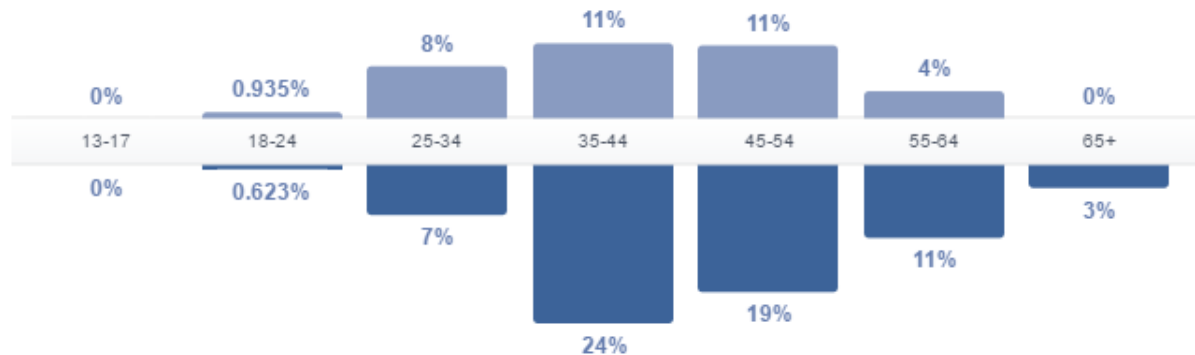
## <年齢構成>

女性

35%  
ファン

男性

65%  
ファン



# しまもと・にぎわい地域活性化交流会の役割

---

島本町を良くしようと活動するお互いの相互理解を深める場

積極的に行動する人が気づきや、協力、コラボを得られる場

新しいメンバーを積極的に受け入れ、新たな連携を構築する場

**島本町活性化の情報・連携基地**

## 2. しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会の取り組みについて

---

- (1) 離宮の水ブランド化推進事業について (島本町商工会)
  - ・ 離宮の水ブランド化推進協議会発足 (御報告ご依頼)
  
- (2) 地方創生加速化交付金事業地域活性化事業取り組みについて
  - ① 潜在化した特産品などブランディング事業 (島本町商工会)
    - ・ 「離宮の水」を商標登録、離宮の水を活用した商品開発を推進
  
  - ② おもてなしイベントの事業化 (尺代漁業協同組合様)
    - ・ 尺代テンカラプロジェクト
  
  - ③ おもてなし空間の創出
    - ・ みなせ野プロジェクト (ユミズフラワーズ様)
    - ・ 若山神社ワークショッププロジェクト (長井工務店様)
  
  - ④ 取組むための機能づくり (にぎわい創造課様)
    - ・ 組織体制の構築



### 3. 意見交換会発表要旨①

---

#### ■ 運用・サポート

- 観光課がない。事務局がそういうことをできれば
- 情報交流・情報提供を今後も継続
- 交流会で良い部分を取り入れていく
- 商工会、専門家アドバイス費用捻出できる

#### ■ PR・情報発信

- 各事業の知名度が低い。小学生の学習プログラムに組み込む
- 商工会・島本町はもっとPRを。島本町・島本町以外にもPRをしてもらいたい
- 関係団体の協力

#### ■ 連携と新事業

- 地元経済が発展して良い循環をうむ。商工業が発展
- 手作り市、地域活動を実際の仕事につなげていく
- 育てた事業をどのように連携していくか
- やっているものをくっつけて利益が出れば一番いい
- みんながwin-winにつながる新しい事業をはじめる
- おもてなし実行委員会で育てていく
- 利益は新たな事業の原資とする
- 竹工房は小学校指導やみなせ野オーガニックマーケットでの販売で連携が可能
- 小林商店はナスの辛子漬けをランチで尺代で提供可能
- しまもと・にぎわい・ねっとで提案を考え、サントリーに提案できる場に
- 農林業祭と手を組めるのではないか

### 3. 意見交換会発表要旨②

---

#### ■ 観光

- 課題は駐車場がないこと。1つだけで解決は難しい
- いろいろなことを連携させるために必要なものがある
- 周遊ルートを回るバス
- サントリーに来られるたくさんの方を島本町に誘致。巡回してもらえるように
- 道の駅、食事場所、楠公道路道路活性化
- 若山神社神輿復興

#### ■ 離宮の水のブランド化

- これを全国的にPRするにいいのでは
- 一番優先すべきこと
- 離宮の水を使った料理教室。水が少量でもOKな取り組みをする
- BARでサントリー山崎&離宮の水
- 参加の裾野を広げる
- ロゴの認知を広げていく

#### ■ 尺代テンカラプロジェクト

- 数件の空き家がでてきた
- 空き家を利用して食事をする場所、民泊をしてはどうか

## 4. おわりに（岩橋）

---

### 1. 選択と集中

- 東洋経済で、“地方は儲からない「イベント地獄」で疲弊する”という記事
- 「流行りだから」「にぎわっているから」「予算が得られるから」「決めた数値目標があるから」と、毎年どんどんやることを増やしていき、事業者が疲弊してしまうという内容
- 事業をされている以上、ゴールは自社の業績向上につながる
- 本業にプライベートの時間を考えると、それ以外で動ける時間・予算は限られている
- 「そもそもの目標は何か、それにどうつなげていくのか」という視点を大切にする
- 新しいことをするときには、同時に「まずやめることを決める」ことも常に意識する

### 2. 情報発信の可能性

- フェイスブックページ『しまもと・にぎわい・ネット』のいいね！数をもっと増やしていき、活発に更新されている投稿をもっと多くの人にみてもらえる余地がある
- いいね！数を増やすには、有料のフェイスブック広告もあるが、イベントやそれに参加されている事業者がイベント時や店頭でQRコードでの案内、HP・ブログからのリンクなどでの紹介するなど、お金をかけずに宣伝する方法はたくさんある
- 現在319いいね！。例えば、当面の目標として、1000いいね！を目指しては

### 3. 島本町活性化の母への感謝

- ここまで島本町を愛する人たちがつながり、思いを具現化できたのは今年度で島本町商工会を退職される吉見さんの熱い思いと、みなさまの協力があってこそ
- 「みなさんの島本町への思いをなんとかしたい」と、必死で毎年度計画を書き、大阪府と折衝して、この交流会を3年連続で開催することを実現された
- 吉見さんこそ、島本町活性化の母